

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科		柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分		基礎分野		授業の方法		講義	
科 目 名		情報科学		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		30 (2) 時間(単位)	
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限		前期		教室名		本館2階PCルーム	
担 当 教 員		BSC		実務経験と その関連資格							
《授業科目における学習内容》											
この授業では、学生がコンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。											
《成績評価の方法と基準》											
出席(20%)、平常点(10%)、試験点(70%:内訳(定期試験40%、課題30%))											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
イーラーニングテキスト 講義はスキルのレベル別に分類されています。レベル1=普通の社会人スキル、レベル2=できる社会人スキル、レベル3=卒業後の各業界で要求されるスキル。BSCと各学科でコラボして開発した講義はレベル3に含まれます。											
《授業外における学習方法》											
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。											
《履修に当たっての留意点》											
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。											
授業の方法		内 容						使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	CCT講義の意義を理解し、Windows操作とタイピングの基礎を身に付けることができる				CCT入門1		タイピング練習をすることで予習復習を行う。		
		各コマにおける授業予定	ログイン/受講時の注意点/CCT講座を受講する意義 タイピングの基礎と測定								
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	文書作成の基本的な操作ができる				Wordダイジェストメール		イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。		
		各コマにおける授業予定	文書作成の基本的な流れ/ページ設定/文字の書式設定/図形・画像などの挿入/表の作成/ページ罫線/G-Mailの使用 方法								
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションソフトの基本操作ができる				PowerPoint1 基本操作		イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。		
		各コマにおける授業予定	テーマとバリエーション/プレースホルダー/箇条書きのレベル 変更/スライド/ノートの作成								
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	図形や画像を活用したスライドを作成できる				PowerPoint2 表現力を上げる		イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。		
		各コマにおける授業予定	ワードアート/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/図形の 調整/削除								
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる				PowerPoint3 動きを付ける		イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。		
		各コマにおける授業予定	画面切り替え効果の設定/アニメーション効果の設定/スライド ショー/印刷/リハーサル								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	作成したスライドを使って発表できる	PowerPoint4 発表	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	発表/評価		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	Excelレベル1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	オートフィル/数式の作成/SUM関数/グラフ作成/印刷		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	関数を駆使した資料を作成できる	Excelレベル2A	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	割合を求める/相対参照と絶対参照/AVERAGE関数/COUNTIF関数/シートの操作		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	グラフを駆使した資料を作成できる	Excelレベル2B	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	目的に応じたグラフ作成/グラフのレイアウト/行や列の挿入/グラフの編集		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を数値化できる（平均、分散、標準偏差）	Excel統計1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	平均と分散の意味と求め方/標準偏差の意味と求め方		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる1（基本統計量を求める、ヒストグラムの作成）	Excel統計2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	分析ツールの使用/基本統計量の算出/度数分布表(ヒストグラム)の作成/標準偏差のグラフ図示		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる2（散布図、相関係数を求める）	Excel統計3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	散布図を作成し、相関関係の有無を視覚的に表す/相関係数の算出		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計的検定を実施できる1	Excel統計4	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	母集団・標本・抽出について/統計的検定の手法について/t検定(一対の標本の平均値の差の検定)/F検定(分散の検定)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計的検定を実施できる2	Excel統計5	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	t検定の種類、使い分けについて/t検定(独立2標本の母分散が等しい平均値の差の検定)/t検定(独立2標本の母分散が等しくない平均値の差の検定)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期で習ったことを実践できる	Excel統計試験対策	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Excel統計復習問題の実施		